



病院理念 『地域とつながり安心・信頼の医療を提供します』



## 院長ごあいさつ

桜も満開を迎え春らしくなり、新しい年度が始まりました。この2年はコロナウイルス感染症が世界各地で広がり、一旦収まったように見えても収束せず再度増加を繰り返しています。卒業式や入学式なども中止こそありませんが人数制限など縮小されています。歓送迎会やお祭りなど人が集まり、飲食を共にする機会もなくなりました。今年度こそは少しずつでもいろいろな行事ができるような状況になってほしいと思っています。新型コロナウイルスは変異型ウイルスの出現もあり、まだまだ油断ならない状況です。このウイルスで問題なのは、症状の出る前にウイルスを排出し、周りの人に感染させることです。日常生活で注意することにより感染しにくくすることはできますが、完全に予防はできません。感染を防げなくても周りの人にうつさないようにすることはできます。人と会ったり、話をするときはマスクを着用し、食事などマスクを外さなければならないときは話をしない。換気のしにくい密閉された空間に長時間いない。家に帰ったときは手洗いをする。上記の注意はまだ必要です。



まだまだ安心して外出、旅行、会食ができる状態ではありませんが、3回目の追加ワクチン接種も順調に行われ、ウイルス感染症による重症化を予防できるようになってきました。この2年間はコロナウイルス感染症に労力を割かれ、通常の業務に支障が出るようなこともありました。今後もこの地域に必要な医療を提供し続けられるように人員、体制を整えていきます。

急性期病棟は286床で救急医療や高度医療に対応していきます。今後もコロナウイルス感染症など感染症患者にも対応できる体制は維持していきます。急性期医療を主としますが急性期医療が終わってもすぐに帰れない人たちがいる地域包括ケア病棟が48床あり、安心して自宅等に帰ることを目指します。また、地域包括ケア病棟は在宅療養を行っている方たちが入院できる役割もあります。がんの終末期の方たちのための緩和ケア病棟が18床あります。この地域に必要とされ、なくてはならない病院として認められるように頑張っていきます。

お互いの安全を守る工夫を続ける必要があります、もう少し不便な生活が続きます。しかし、その先にコロナ前と同じではなくても、もっと自由な明るい未来が来ることを願っています。

院長 神谷 里明

## 人事異動（医



### ◆採用（4月1日付）7名 よろしくお願ひします。

|          |       |         |       |
|----------|-------|---------|-------|
| 内分泌内科副部長 | 奥地 剛之 | 婦人科主任医長 | 榊原 貴恵 |
| 皮膚科医長    | 熊野 友華 | 腎臓内科医師  | 井上 昌俊 |
| 放射線科医師   | 木下 知子 | 外科医師    | 緒方 諒仁 |
| 整形外科医師   | 則竹 洋和 |         |       |

### ◆退職（3月31日付）14名 大変お世話になりました。ありがとうございました。

|                      |       |          |       |
|----------------------|-------|----------|-------|
| 副院長兼消化器内科統括部長        | 久富 充郎 |          |       |
| 診療局長兼腎臓内科部長兼臨床工学技士室長 | 山本順一郎 |          |       |
| 健康管理センター部長           | 河瀬 孝順 | 内分泌内科副部長 | 村岡 由佳 |
| 脳神経外科医長              | 川口 礼雄 | 腎臓内科医師   | 辻 将志  |
| 放射線科医師               | 北林佑季也 | 消化器内科医師  | 富田 章仁 |
| 皮膚科医師                | 良元のぞみ | 整形外科医師   | 河邊 貴  |
| 内分泌内科医師              | 近藤 祐市 | 脳神経内科医師  | 柳澤 哲朗 |
| 外科医師                 | 今瀧 裕允 | 内科医師     | 北川 靖洋 |

## 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟とは、急性期治療を経過した患者さん及び在宅療養を行っている患者さんの受け入れ、並びに患者さんの在宅復帰支援を行う機能等を有し、地域包括ケアシステムを支える重要な役割を担う病棟です。

一般的な血液検査、レントゲン検査、投薬治療は可能ですが、急性期病棟で行うような医療には対応できません。

病状の変化に伴い、当院主治医が集中的な治療が必要と判断した場合は急性期病棟へ移動し、治療を行います。

入院の対象となる患者さんは、在宅または介護施設等（※1）に復帰予定で、入院治療により症状が改善、安定した後、もう少し経過観察、在宅復帰に向けた生活支援及び在宅での療養準備が必要な方となります。

入院期間は状態に応じ調整いたしますが、入棟後概ね30日です。

（※1）特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅、ケアハウス、グループホーム、軽費老人ホーム

《添付資料》 「市民病院ドクタープロフィール R4.5」  
「外来診療医師一覧表 R4.5」  
「医師一覧表 R4.5」  
「病診連携アンケート結果」

津島市民病院 地域医療センター  
TEL 0567-28-5151  
FAX 0567-28-6653（地域医療センター専用）  
<http://www.tsushimacity-hp.jp>